

認定 NPO 法人 子どもの心理療法支援会

精神分析的な心理療法 2020～21 研修プログラム

募集要項

はじめに

京都・大阪を中心に心理療法支援や研修の提供を行ってきました「子どもの心理療法支援会」は、発足 15 年目を迎え、その活動の社会的意義も認識され、寄付金控除などの税制が優遇される認定 NPO 法人として認められています。また、サポチル関東が発足したことで、関東でも臨床セミナーや研修プログラムを受講していただけるようになりました。時間や費用にも関わらず、心理療法を実践する力の向上を求める先生方の熱意にサポチルはこれまで支えられてきたのだと深く感謝しております。

この研修プログラムは精神分析的な心理療法に関する高い専門性を有した心理療法士を育成していく活動の一環として開講してきました。皆様が自立性・自主性・専門性を持ち、目指す成長を達成するために学ぼうとする「場＝アトリエ」をこちらが提供するという「アトリエシステム」をスローガンに、毎年 100 名を超える方々に参加していただいております。

・2 種類の訓練コース

公認心理師法の施行に伴って、心理職の資格制度も激動の時代を迎えています。こうした中で、子どもの精神分析的な心理療法の入門から高い専門性の定着までの訓練過程を明示し、その達成までをきめ細かくサポートする体制がこれまで以上に必要になっていると考えます。そこで私たちは、2018 年度より、確かな専門性の手ごたえを得られるように体系化された訓練コースを設立しました。来年度も各種訓練コースの 3 期生を募集します。詳細は HP 上に掲載されているコースの募集要項をご覧ください。

また、2011 年から開始した「子どもの精神分析的な心理療法士」資格の認定制度では 16 名が資格を取得されており、今後もさらなる発展を目指します。さらに 2015 年には、「子どもの精神分析的な心理療法スーパーバイザー（コンサルタント・セラピスト）」資格（現在、有資格者 2 名）も設定し、指導者層の育成にも力を入れています。

・今年度の主なプログラム内容の変更点

今年度は大きなプログラムの変更はありません。文献講読Ⅰの内容は、京都では「クライン」、大阪では「フロイト」となります。文献講読Ⅲは、前半を久保先生、後半を狗巻先生に担当していただきます。

皆様の積極的な参加を心よりお待ちしております。

認定 NPO 法人 子どもの心理療法支援会
理事長 平井正三

1. プログラム一覧

- 本研修プログラムは、「基幹セミナー」、「応用セミナー」によって構成されています。
- 下記日時は、基本的な日時であり、講師の都合で変動することがあります。ご了承ください。

コース名		講師	会場	定員	日時	受講料	支払い方法		
基幹セミナー	乳児観察セミナー	平井正三	御池	5名	毎週月曜日 19:30~21:00	5,000円/1回	B		
		鵜飼奈津子	梅田	5名	毎週土曜日 10:30~12:00				
		由井理亜子	御池	5名	毎週土曜日 11:00~12:30				
	精神分析入門セミナー (小人数の講義形式)		津田真知子他	森ノ宮	10名	第1土曜日 15:40~18:10	30,000円/全10回	A	
	ワーク・ディスカッションセミナー		鈴木誠	御池	8名	第3土曜日 18:30~21:00	50,000円/全10回	A	
文献講読	文献講読Ⅰ	フロイト	飛谷渉	なんば	15名	第4土曜日 18:30~21:00	正会員 50,000円/全10回 その他 60,000円/全10回	A ※正会員割引は2月の理事会までに入会が承認された方に限ります※	
		クライン	平井正三	御池	12名	第1土曜日 18:30~21:00			
	文献講読Ⅲ 「こころの発達心理学」		狗巻修司/ 久保信代	御池	12名	第2土曜日 16:30~18:30			
応用セミナー	GSV	Small Group SupervisionⅠ	飛谷渉	なんば	5名	第2・4火曜日 20:00~21:30	5,000円/1回 90分	C	
		Small Group SupervisionⅢ	仙道由香	新大阪	5名	第2・4火曜日 8:30~10:00	6,000円/1回 90分		
		森ノ宮事例検討会	津田真知子他	森ノ宮	10名	第1土曜日 18:40~20:40	25,000円/全10回		
	勉強会・ワークショップ	親面接セミナー		津田真知子	京橋	5名	第2土曜日 16:00~18:00		40,000円/全10回
		思春期青年期の精神分析的 心理療法セミナー		飛谷渉	なんば	15名	第2土曜日 18:30~21:00		50,000円/全10回
		心理療法のアセスメント (成人)		仙道由香	新大阪	10名	第4土曜日 18:30~21:00		
		初学者向け子どもの心理療法 セミナー		渡邊智奈美	森ノ宮	8名	第2土曜日 13:30~15:30		2,000円/全10回
正会員限定	土曜研究会		土曜研究会 委員会企画	御池	—	第3土曜日 19:00~21:30	無料	NPO正会員のみ参加できます。 参加ご希望の方は事務局までご連絡ください。	

【支払い方法】

A：受講料は3月末までに納入してください。分納を希望される方は、半額を3月末まで、残りの半額を10月末までに指定の振込先へ納入してください。

B：各月ごとに講師にお支払ください。

C：セミナー開講後、講師の指示に従ってください。

※一度納入されました受講料は、返金いたしかねますのでご了承ください。

※料金の分納制度はあくまで振込みの負担を軽減するための措置です。研修プログラムは1年を通して参加していただくことで得られる濃密な学びとメンバーシップを重視しておりますので、半年単位の参加はご遠慮いただいております。

2. お申し込み

- 対象**：臨床心理士、医師、それに準じる専門家。もしくは心理臨床の実践について学んでいる大学院生。
- 申込方法**：申込用紙に必要事項を記入の上、**2020年2月末日（一次募集）**までに「子どもの心理療法支援会」事務局までE-mailまたはFaxにてお申込みください。
- 参加の可否**：参加希望者が定員を超えた場合は、前年度から引き続き受講される方に優先的に参加いただきます。次に新規に参加される正会員、賛助会員、一般の順にご参加いただきます。正会員、賛助会員の中で定員を超えた場合は、先着順にてご参加いただきますのでご了承ください。参加の可否につきましては、3月上旬に事務局よりご連絡いたします。ご参加いただける場合は、その連絡とともに受講料の振込みについてのご案内をお送りいたします。連絡方法は、E-mail、Fax、郵送の3通りがあります。ご希望の連絡方法を申込用紙の「参加可否の連絡方法」の欄でご指定ください。

※最近、事務局メールから yahoo mail、gmail、hotmail などのフリーメールアドレスをお持ちの方にメールが届かないという事例が散見されます。1週間以上返事が無い場合はメールの不具合の可能性がありますので、事務局までお問合せください。また、迷惑メールフォルダなどに自動的に振り分けられることもありますので、ご確認をお願いいたします。

【お問い合わせ】

認定 NPO 法人 子どもの心理療法支援会 事務局

〒604-8187 京都市中京区東洞院通御池下る笹屋町 444 初音館 302

Fax : 075-600-3238 / E-mail : info@sacp.jp / URL : <http://sacp.jp/>

3. 会場

それぞれの会場の詳細は、受講が決定した際にお知らせします。

表記	会場の名称	最寄駅
御池	御池心理療法センター	阪急烏丸駅下車 15 分、 地下鉄烏丸御池駅下車 2 分
梅田	(詳細は受講決定後にお知らせします)	JR・阪急・阪神梅田駅下車 10 分 地下鉄中崎町駅下車すぐ
なんば	精神分析的心理療法・プラクティスなんば	地下鉄大国町駅下車 5 分
京橋	大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室	JR・京阪・地下鉄京橋駅下車 5 分
森ノ宮	森ノ宮心理相談室	JR・地下鉄森ノ宮駅下車 5 分
新大阪	新大阪心理療法オフィス	JR・地下鉄新大阪駅下車 7 分

4. 修了証の発行

「初学者向け子どもの心理療法セミナー」、「土曜研究会」を除く各セミナーについて、年度毎に修了証を発行いたします。修了証は、本 NPO がコース修了と考える基準を明確にし、受講生がその基準を満たしたことを証明するためのものです。本研修プログラムは受講生の自主性を尊重するものであり、必ずしも修了証を受けることを目指す必要はありませんが、精神分析的な心理療法士・精神療法医資格取得のために単位を必要とされる方は、修了証を得る必要があります。また本研修プログラムは、NPO 法人子どもの心理療法支援会が認定する「子どもの精神分析的な心理療法士」資格の要件となっております。資格取得を目指される方は修了証を取得していただく必要があります。

各コースにおいて、修了証を受け取るためには、以下の要件を満たすことが必要となります。

乳児観察	2年間の乳児観察を終了すること
G.S.V.	出席率 8割
その他セミナー	8割の出席および各講師が指定したテーマに沿ったエッセイの提出

5. 研修プログラム内容

5-1. 基幹セミナー

子どもの精神分析的な心理療法 BASIC は今年度も休講となります。類似した内容が「初学者向け子どもの心理療法セミナー」にて扱われます。

●乳児観察

精神分析的な心理療法を実践するにあたって、基本的な治療者の態度について学ぶことができます。心理療法の事例を持たない方の参加も歓迎しています。本セミナーは、ウェイティングが出ており、空きが出たタイミングで参加することになります。なお、定員が超過した場合は「観察と臨床基礎コース」希望者の参加が優先されます。

乳児観察セミナー	平井正三先生／御池	毎週月曜日／19:30～21:00
	鵜飼奈津子先生／梅田	毎週土曜日／10:30～12:00
	由井理亜子先生／御池	毎週土曜日／11:00～12:30

～講師（平井先生）からの内容紹介～

本セミナーでは、タビストック方式乳児観察を実際に経験することで、乳児の心の世界や母子関係の実際に触れる一方、精神分析的な観察のスタンスを身につけていくことを目指していきます。参加者は、2年間毎週1時間観察のために、そしてさらにそれ以上の時間を記録のために費やすことのできるコミットメントを必要とされます。乳児観察の経験は子どもの精神分析的な心理療法の研修の基礎であると、本 NPO は考えています。本セミナーに参加を希望される方に対しては、事前に始め方などをご相談いただく機会を設けますので、NPO の事務局もしくは講師にご連絡ください。

●精神分析入門セミナー

精神分析の歴史・基礎概念・技法などを系統的かつ包括的に学ぶことを目的としたセミナーです。少人数を対象とした講義形式で、かつ毎回講師が代わりオムニバス形式で豊かな視点を身に着けられるよう企画されていることが特徴です。「日本精神分析学会認定精神療法医・日本精神分析学会認定心理療法士」認定研修グループの認定審査を受け、「系統講義」として認定されています。

精神分析入門セミナー	津田真知子先生 他／森ノ宮	第1土曜日 15:40～18:10
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>精神分析学会認定系統講義ですので4年(100時間)で精神分析の全体を学べるようにプログラムが組んであります。今回は2クール目の3年目で、「症状と病態の精神分析的な理解」を学びます。精神分析を基礎から学びたい方のためのものですが、中堅の方も再度ご自分の学びを振り返る機会にさせていただけるものです。講義は系統的に組まれています。4年目の次年度は「精神分析的療法の面接技法」となります。</p> <p>この小規模セミナーは受容的な雰囲気の中で、講師の経験事例も聞きながら精神分析理論が生きた形で学べるように工夫されています。小規模なセミナーのために大規模なセミナーでは体験できない参加者同士の親密感や安心感を基に、出しにくい素朴な質問や疑問も率直に出せるのが特徴です。精神分析的臨床の力をつけるためには、絶えず実践と理論を行きつ戻りつ並行して学び、深く考える態度を身に着けることが必要です。また自分の疑問や考えを表現することが重要です。本セミナーはその訓練に寄与できるものと考えます。</p> <p>講義は、主に精神分析学会の認定精神療法医・認定心理療法士、及び認定スーパーバイザーが担当します。本年度も講師のほかにゲスト講師を加えて理解がより深まるようにしています。</p> <p>4年を1クールとしていますが、1年ごとの受講も可能ですので奮ってご参加下さい。</p>		

●ワーク・ディスカッションセミナー

ワーク・ディスカッションセミナー	鈴木誠先生／御池	第3土曜日 18:30～21:00
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>実際にワーク・ディスカッションを体験することを中心に据えます。通常では心理療法が届かない人々や世界へ貢献するチャレンジを修得していきます。</p>		

●文献講読

精神分析および発達に関する基本的な文献を読み、学んでいきます。文献講読Iは2つのセミナーが開講されており、内容が異なりますのでご注意ください。飛谷先生によるなんば開講は1ターム4年の1年目(フロイト)、平井先生による御池開講は1ターム4年の2年目(クライン)となります。どちらの「文献講読I」も「日本精神分析学会認定精神療法医・日本精神分析学会認定心理療法士」認定研修グループの認定審査を受け、「系統講義」として認定されています。

文献講読Ⅰ 「精神分析のエッセンスを学ぶ」	フロイト：飛谷渉先生／なんば	第4土曜日／18:30～21:00
	クライン：平井正三先生／御池	第1土曜日／18:30～21:00
<p>～講師（飛谷先生）からの内容紹介～</p> <p>精神分析の歴史を踏まえた理論的、方法論的發展について、特にフロイトからクライン、クラインからビオン、そして現代クライン派という系譜を軸に4年間かけて系統的に学んでゆきます。今年度は3クール目の一年目にあたり、フロイトから再度始まることとなります。本年度はフロイトの主要論文を読み、それらが現在の精神分析臨床にいかなる価値を持つのかについて考えて行きます。サブリーディングとして、Quinodozの‘Reading Freud’（「フロイトを読む」キノドス著、福本修監訳）を中心に使用し、精神分析史におけるフロイトの方法論的、理論的、そして人間的な変遷を分かりやすく追跡できるよう構成されます。二年目は、クライン後期の主要論文を中心に、クライン派臨床の基礎的理論を学びます。三年目は、ビオンの著作にふれ、彼が精神分析臨床にもたらした革新的な概念について探求し、今一度精神分析という営みとは何かということについて考えて行きます。四年目は、現代クライン派の展開を知るために不可欠の論文を中心に、特にナルシシズム、自閉症など現代の臨床に直結する概念を学びます。</p> <p>使用文献、1)「フロイト全集；岩波書店」、2)‘Standard Edition of complete psychological works of Sigmund Freud’ 3)「フロイトを読む：キノドス著、福本修監訳、岩崎学術出版社」‘Reading Freud’ Quinodoz、他の文献は、シラバス掲載予定</p> <p>～講師（平井先生）からの内容紹介～</p> <p>本セミナーでは、クラインの主要な論文を読んでいきます。主要テキストはメラニー・クライン著作集を用います。副読本として、リカーマンの『新釈 メラニー・クライン』を用います。</p>		

文献講読Ⅲ 「こころの発達心理学」	狗巻修司先生・久保信代先生／御池	第2土曜日／ 16:30～18:30
<p>文献講読Ⅲは、前半を久保先生、後半を猪巻先生に担当していただきます。</p> <p>～久保先生からの内容紹介～</p> <p>文献講読Ⅲの本年度は、2018年度に開始したターム（3年間）の最終年となります。3年目からのご参加も歓迎します。ここでは、Bowlbyとともにアタッチメント理論を創生し、精力的な観察研究によって、世界標準のアタッチメント測定方法であるStrange Situation Procedureを開発したMary Ainsworthの“Patterns of Attachment”を講読します。親子の相互作用のどこに視点を置き、何をしようとしたのか、Ainsworthの記述からの学びは、私たちの日々の臨床実践に活かすべき重要な示唆に富んでいます。英語文献ですので、1回につきおおよそ1章のペースで、じっくり取り組みたいと思います。アタッチメントと発達研究の基礎知識を共有したうえで、文献講読Ⅲに臨みたいと思いますので、参加者には、事前学習として、日本語の課題図書を読んでおいてください。</p>		

【課題図書（事前学習）】

数井みゆき・遠藤利彦（2005）アタッチメント：生涯にわたる絆、ミネルヴァ書房

北川恵・工藤晋平（2012）アタッチメントに基づく評価と支援 誠心書房

*特に第4章観察法 Part1 ストレンジ・シチュエーション法

【テキスト】

Ainsworth, M., Blehar, M., Waters, E., & Wall, S. (1978/2015). Patterns of Attachment: a psychological study of the strange situation. New York: Psychology Press.

～狗巻先生からの内容紹介～

テクノロジーの発展とともに、それまで不可能であった様々な現象に対する測定が可能となっています。このことは乳幼児期の発達についても同様です。そこで今回の文献講読では、発達心理学における研究の到達点とその限界、つまり、「何がわかって、何がわかっていないのか」について検討したいと思います。

下記の文献を指定図書とし、毎回1～2章をテキストとし、受講者で発表を分担・全員でディスカッションを実施できればと思います。1回目は下記の文献第1章を熟読した上でご参加ください。

【テキスト】

板倉昭二編著（2014）『発達科学の最前線』ミネルヴァ書房

5-2. 応用セミナー

「応用セミナー」は、講師の先生方が独自に運営されるセミナーを本研修プログラムの一つとして組み入れているものです。経験豊富な講師の方々がそれぞれユニークな視点と専門性をもって開催しているセミナーです。より多角的に心理療法について学ぶことができます。

●グループスーパービジョン

少人数のグループスーパービジョンです。1年間継続して、同一のメンバーが、同じスーパーバイザーのもとで事例を検討します。各グループとも受講生にあった細やかな指導がなされるとともに、スーパーバイザーの臨床に対する考え方やケースに対する姿勢など、さまざまな面を学ぶことができます。「森ノ宮事例検討会」だけは毎回様々な先生を講師としてお招きし、多角的な議論ができるようになっております。なお、Small Group S.V. I・森ノ宮事例検討会については、「日本精神分析学会認定精神療法医・心理療法士」認定研修グループの認定審査を受け、「症例・事例検討会」として認定されています。

Small Group S.V. I	飛谷渉先生／なんば	第2・4火曜日／20:00～21:30
～講師からの内容紹介～		
子ども、思春期、成人という幅広い年齢層のケースを対象としてグループ・ディスカッション形		

式のスーパービジョンを行います。精神分析的心理療法における治療構造の創造とその維持、転移逆転移をどう読みどう解釈するか、その二つをグループスーパービジョンの主眼とし、さらに心理療法のセットアップ、アセスメント、精神分析的態度の獲得などにも適宜ふれて行きます。その中で1セッションごとに何が起きているのかを感知できる力をつけることを目標とします。来年度に向けて空きが一名あります。日本精神分析学会認定研修グループ（症例検討会機能）となっています。

Small Group S.V. III	仙道由香先生／新大阪	第2・4火曜日／8:30～10:00
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>大学生程度から老年期までの成人(個人)を対象とした精神分析的心理療法について検討します。毎回ひとつのセッションに関する詳細なプロセスノートをもとに小グループで丁寧にディスカッションし、特にセラピストとクライアントの間で展開される転移・逆転移やファンタジーを生き生きと理解することを目指します。さらに、より適切な関わり方の技法について理解を深めます。</p> <p>※前年度から引き続いて参加ご希望の方も今年度分として改めてお申込みをしてください。</p> <p>(定員：最少3人～最大4人)</p>		

森ノ宮事例検討会	津田真知子先生 他／森ノ宮	第1土曜日／18:40～20:40
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>精神分析入門セミナー（15時40分～18時10分）の後の時間帯（18時40分～20時40分）に行われます。参加者が順番に事例を提供し、それを助言者の先生を中心に参加者全員で検討します。助言者は入門セミナーの講師、ゲスト講師の2名で、2名の先生とクローズドの参加者で毎回率直なディスカッションがなされます。凝集性が高く活発でオープンな雰囲気ので検討会ですので初めて事例を出される方も参加しやすいものです。参加者は、事例を提供できる方に限定します。</p> <p>事例検討会は、自分の経験していないケースについて考え、自分の考えを言語化する訓練の機会になり、臨床家に不可欠な研修です。</p> <p>日本精神分析学会認定の事例検討会ですので認定取得を希望される方も歓迎いたします。</p>		

●**セミナー・ワークショップ・勉強会**

それぞれのセミナーやワークショップが独自のテーマを設定し、少人数で1年間継続して学べるようになっています。事例の特徴に合わせて必要な知識を集中的に学べるセミナーや子どもに限らず心理療法の基本を学べるセミナーなどがあります。

親面接セミナー	津田真知子先生／京橋	第2土曜日／16:00～18:00
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>親面接は子どもの心理療法に重要かつ不可欠なものですが、これまで十分に学びの機会がありませんでした。このセミナーは、サポチルの子どもの精神分析的な心理療法士の訓練コースが創設さ</p>		

れたのと同時に開設したものです。前半は文献講読を行い、後半は参加者にケースを提供していただき全員でディスカッションを行います。

職場の如何を問わず親面接を担当されている方の参加をお待ちしています。

思春期青年期の精神分析的 心理療法セミナー：タビストック のアドレッセント臨床を学ぶ	飛谷渉先生／なんば	第2土曜日 18:30～21:00
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>本年のテーマ：「思春期における暴力・倒錯・非行—ポートマン・クリニックの心理療法臨床」</p> <p>思春期青年期（13歳～22歳）の臨床例をお持ちの臨床家、もしくは近い将来そのような年齢層の患者との面接をする予定の臨床家が対象です。文献講読とともにアセスメントやマネジメントも含めた事例検討を広い視野のもとで行います。スクール・カウンセリング、学生相談、児童思春期精神医療、児童養護施設など、治療の場やセッティングの相違によるアプローチの違いなども検討します。それらの事例がサイコセラピーに向いているかどうか、そうでないならどのような対応が治療的かといったことから、本格的な精神分析的な心理療法の中でのアドレッセントにも焦点を当てることとなります。さらに英国タビストックの思春期青年期部門におけるアプローチを紹介し、日本の思春期臨床の中でそれらをいかに適用できるかなど検証します。本年度の年間テーマは「思春期における暴力・倒錯・非行」です。文献講読1時間15分と事例検討1時間15分によって構成されており、メンバーにはどちらかへのご発表をさせていただきます</p> <p>使用文献 ‘Lectures on Violence, Perversion and Delinquency’ David Morgan & Stanley Ruzsyczynsky, Karnac (2006)</p>		

心理療法のアセスメント (成人)	仙道由香先生／新大阪	第4土曜日／18:30～21:00
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>心理療法にさきだつては、丁寧なアセスメント・コンサルテーションをおこなうことが極めて重要です。アセスメント・コンサルテーションとは、目の前に現れたその人にとって、いまこの時点において心理療法が役に立ちそうか、役に立つとするならどのような心理療法を、どのように、誰がどこでおこなうことが最もよさそうか、セラピストや治療構造の限界なども見極めつつ判断し、合意に至ろうとするプロセスを指します。最終的な合意に至る道のりそのものによって、既に、治療的な体験をもてる可能性もあります。本セミナーでは、そのようなアセスメント・コンサルテーションについて、毎セッションの前半には、皆でテキストを講読し、考え方や技法について理解することを目指します。次いで後半には事例検討をおこない、より体験的に理解を深めることを目指します。(定員：最少3人～最大9人)</p> <p>※本シリーズは成人(大学生程度から老年期まで)を対象としたアセスメントを取り扱います。</p> <p>※新規参加の方も前年から継続して参加の方もいずれも歓迎です。</p> <p>※今年度から、これまで用いていたテキストの翻訳版、および担当講師(仙道)が日本語で解説し</p>		

た入門書をテキストとして用います。従来テキストが英語であるために参加を断念していた方も是非どうぞ。

初学者向け 子どもの心理療法セミナー	渡邊智奈美先生／森ノ宮	第2土曜日／13:30～15:30
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>このセミナーは、大学院生や院卒5年目くらいまでの方を対象としています。子どもの精神分析的な心理療法に関心があり、実践し始めたばかりの方にぜひお越し頂きたいと考えています。訓練コースに入ることを検討しつつも、まだはっきり決心がつかない初心者の方にも向いています。</p> <p>セミナーの前半（1時間）は文献の講読とディスカッションを行います。文献は、子どもの精神分析的な心理療法を実践するうえでの基礎となる考えについて学ぶものや、幅広く心理療法や子どもの心の理解につながるものを読んでいます。</p> <p>後半（1時間）は子どもの事例検討を行い、参加者が自らの臨床について言葉にして提示する機会を提供します。初学者ならではの素朴な疑問、心理療法を実施しようとするうえで生じる不安についても一緒に考えていく場にしたいと考えています。このセミナーは同じような経験をしている初学者が集まるピアグループでもあります。仲間とともに日々感じることを率直に話し合うことができる場を持つことは、臨床実践をしていく上で大きな支えになる場所もあると思われま</p>		

●正会員限定

土曜研究会	土曜研究会委員会企画／御池	第3土曜日／19:00～21:30
<p>～委員会からの内容紹介～</p> <p>文献講読と事例検討会を行いながら、専門会員が個々の研究について発表していきます。NPO 正会員はボランティア会員含め、どなたでも、いつからでも、無料で参加することができます。会場は御池心理療法センターを予定しています。</p>		

※本 NPO は、精神分析的な心理療法の実践において、個人スーパービジョンおよび個人分析・個人セラピーを受けることは重要かつ欠かせないものと考えております。個人スーパービジョン、個人分析をご希望の方には、ご相談を受付けますので、事務局（info@sacp.jp）までご連絡ください。

参考：訓練コース

サポチルでは2018年4月より2つの訓練コースを創設し、運営しています。これは研修プログラムの自主性・自発性という理念は維持しながらも、確かな専門性を実感するために体系的な訓練内容を整備したものです。エントリーから修了までの訓練過程に責任を持ってサポートし、知識や技量の着実な定着と高い専門性に対する自負が得られていくように集中的な訓練を提供します。精神分析的心理療法の実践のみを目指すのではなく、各々の現場に即した実践を考えて行える自立した専門家を目指すものとなっています。

例年、11月から12月に募集があり、エントリー審査を経て、4月からコース生としての生活が始まります。以下にどのようなプログラムが用意されているかを掲載しますが、詳細はこちらをご覧ください (<https://sacp.jp/project/#training>)。

A：観察と臨床基礎コース

コース責任者：竹山陽子

乳児観察を中心に、(子どもの)精神分析臨床に必要な基礎的なスキルと知識を学びます。セラピスト養成コースに進みたい人の基礎訓練コースであり、まずはこのコースをご受講ください。

子どもの心理療法実践に携わらなくても、SC、医療機関、福祉施設などでそれぞれの臨床実践に精神分析の基礎的スキルや知識を生かしたい人向けのコースです。

最短2年で修了します(当面は修了要件さえ満たせば短くすることも可)。

B：セラピスト養成コース

コース責任者：平井正三

「観察コース」を修了した人で、「子どもの精神分析的心理療法士」として独り立ちできる力を培うためのコースです(乳児観察修了者は本コースから開始可)。

本コース生は、訓練生として、サポチルの心理療法委託機関に所属し、アセスメントを含めた子どもの精神分析的心理療法実践の機会を得ます(外部ケースも条件次第で訓練ケースにできる)。所属機関のアセスメントカンファレンス(月1回)に参加し、アセスメントの実際も学びます。

最短3年で修了します(当面は修了要件さえ満たせば短くすることも可)。

コース名		講師	会場	日時		
訓練 コース	2期生	観察と臨床基礎	基礎セミナーⅠ	松本拓真	森ノ宮	第1・3土曜日 14:30~16:30
		セラピスト養成	アセスメント セミナー	鵜飼奈津子	梅田	第3土曜日 18:30~20:30
			初年度GSV			第2土曜日 19:00~20:30
			基礎セミナー	松本拓真	森ノ宮	第1土曜日 16:45~18:45
	1期生	観察と臨床基礎	基礎セミナーⅡ	竹山陽子	御池	第1・3土曜日 16:00~18:00
		セラピスト養成	文献セミナー	平井正三	御池	第4土曜日 18:40~20:40
2年目GSV			第2・4土曜日 17:00~18:30			

講師紹介（敬称略、50音順）

狗巻修司	京都府立大学大学院修了（博士：福祉社会学）後、日本学術振興会特別研究員（PD）、佐賀大学文化教育学部講師を経て、現在、奈良女子大学研究院人文科学系准教授。
鵜飼奈津子	1997～2004年タビストック・クリニック児童・家族部門留学、Child & Adolescent Psychotherapist 取得。ロンドン医療センターおよび Refugee Therapy Centre、Child & Adolescent Psychotherapist を経て、現在、大阪経済大学人間科学部教授。
久保信代	Lesley College (現 Lesley University) Graduate School、Severe Special Needs 修了。Adult Attachment Interview コーダー資格。公認心理師。臨床心理士。 現在、関西福祉科学大学心理科学部心理科学科准教授。
鈴木誠	1988年名古屋大学医学部精神医学教室 卒業後研修修了。現在、くわな心理相談室 主宰。日本精神分析学会認定スーパーバイザー・認定心理療法士。
仙道由香	臨床心理士。2008～2014年タビストック・クリニック成人部門留学。タビストック認定成人心理療法士(TQAP)資格取得。英国精神分析協議会(BPC)登録精神分析的な心理療法士。現在、新大阪心理療法オフィス代表のほか、大阪経済大学および同大学院にて兼任講師も務める。 https://yukasendo.com
竹山陽子	奈良女子大学修士課程修了。現在、御池心理療法センター/岡クリニック勤務。日本精神分析学会認定心理療法士。NPO 法人子どもの心理療法支援会認定「子どもの精神分析的な心理療法士」。
津田真知子	奈良女子大学修士課程修了。関西心理センター・谷町子どもセンター所長を経て現在、大阪心理臨床研究所代表。NPO 法人子どもの心理療法支援会副理事長。国際精神分析協会 (IPA) 認定精神分析家 (日本精神分析協会準会員)。日本精神分析学会認定スーパーバイザー。
飛谷渉	1991年大阪市立大学医学部卒、2004～2008年タビストック・クリニック思春期青年期部門留学。現在、大阪教育大学保健センター准教授。精神科医、日本精神分析学会認定スーパーバイザー。
平井正三	京都大学教育学研究科博士課程を経て、タビストック・クリニック児童・家族部門留学、Child & Adolescent Psychotherapist 訓練コースを修了し、資格取得。現在、御池心理療法センター代表および認定 NPO 法人子どもの心理療法支援会理事長。大阪経済大学客員教授。日本精神分析学会認定スーパーバイザー。
松本拓真	大阪大学大学院博士後期課程修了（人間科学博士）し、現在、岐阜大学教育学部助教。2018年に「子どもの精神分析的な心理療法スーパーバイザー（コンサルタントセラピスト）」を取得。近著に「自閉スペクトラム症を抱える子どもたち：受身性研究と心理療法が拓く新たな理解」（金剛出版）がある。
由井理亜子	大阪大学大学院人間科学研究科博士課程単位取得認定退学。臨床心理士。公認心理師。2017年「子どもの精神分析的な心理療法士」を取得。現在、御池心理療法センター、精神科などで勤務。
渡邊智奈美	臨床心理士、2015年「子どもの精神分析的な心理療法士」資格取得、河内総合病院、大阪心理臨床研究所等勤務。